

社会福祉法人 溪仁会

『きもべつ喜らめきの郷』 北海道喜茂別町

【贈呈理由】 寒冷地対応のエコキュートと、地中熱ヒートポンプの導入により環境負荷と光熱費の低減を実現



介護老人福祉施設 きもべつ喜らめきの郷



地中熱ヒートポンプ・業務用エコキュート貯湯槽

社会福祉法人「溪仁会」は、1981年の創設以来、札幌を中心に高齢者介護・福祉を中心とした事業を展開するだけでなく、長年の施設運営実績を踏まえて地方自治体からの要請に応え施設を運営するなど、重要な役割を果たす存在となっている。

入居者の個性にあわせた施設運営を実施

2014年には、今回紹介する「きもべつ喜らめきの郷」に続き、7カ所目の介護老人福祉施設をオープンした他、介護老人保健施設やグループホームを多数運営している。

「きもべつ喜らめきの郷」は、羊蹄山を正面に望む緑豊かな喜茂別町に位置して

おり、「入居された方がいつも笑顔で楽しく日々を過ごせる施設」を目指し、木をふんだんに使った内装や、喜茂別の季節の移り変わりを感じられる大きな窓を設けた空間づくりとなっている。また、プライバシーと個性を尊重し完全個室の「ユニットケア」を導入するなど、入居者一人ひとりの個性にあわせた生活をサポートする施設運営を心掛けている。

極寒冷地でも安定運転、地中熱ヒートポンプシステム

新施設の建設にあたっては、喜茂別町から「環境に配慮した施設づくりを」との要請があり、再生可能熱エネルギーである「地中熱」を利用したヒートポンプシステムを推進していた町

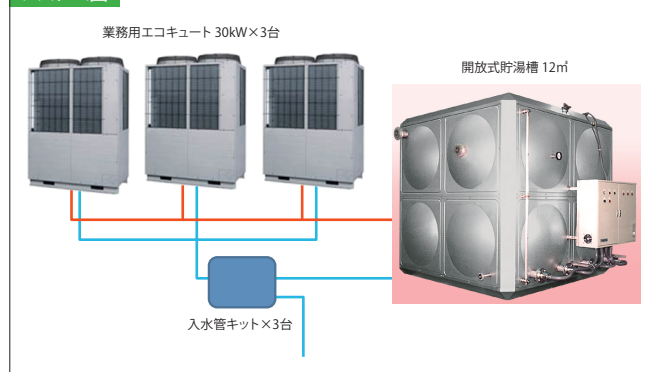
の方針にあわせて当システムを導入した。また、給湯にも、再生可能熱エネルギーを利用する業務用エコキュートを導入し、安全性に加え、省エネルギー性やランニングコストでも優位性のあ

るヒートポンプを中心とした電化システムの採用に至った。

喜茂別町は札幌市の隣町に位置しているものの、冬はマイナス25℃を下回る極寒冷地であることから、冷暖房用途がエネルギーの使用全体に占める割合が大きくなりやすい中、厳しい気象条件下でも安定したエネルギー源である「地中熱」を使ったヒートポンプシステムの果たす役割は大きい。また施設内で利用されるお湯を供給している業務用エコキュートも極寒冷地の環境下においても安定的に運転されている。施設の運営面で「トラブルが少ないこと」は負担軽減にもつながっており、ヒートポンプシステムによる空調と給湯は、施設運営側の安心のみならず、入居者に対しても安心・安全で省エネルギーな北国の暮らしを提供することにつながっている。

今後も、地球環境に配慮したシステムを導入した施設を通じ、入居者と社会への貢献となる運営を続けたい。

システム図



介護老人福祉施設 きもべつ喜らめきの郷

所在地：北海道虻田郡喜茂別町字伏見272-1
建築設計：(株)ドーコン
建築施工：鉄建建設(株)
蓄熱設備設計：(株)ドーコン
蓄熱設備施工：(株)朝日工業社
延床面積：4,643㎡
竣工：2014年(新設)

■蓄熱設備概要
業務用エコキュート 30kW×3台[三菱重工業]
貯湯槽：12㎡